

# COP19における適応政策に 関する交渉結果

遠藤 功

IGES

2013年12月4日

# UNFCCCにおける適応の位置づけ

## 第二条 目的

- 生態系が気候変動に自然に適応できるような期間内に大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させる。

## 第四条 約束

- すべての締約国は
  - 適応を容易にするための措置を含む計画を作成・実施・公表する。
  - 適応のための準備について協力する。
  - 自国が実施する事業又は措置の経済、公衆衛生及び環境に対する悪影響を最小限にする。
- 先進締約国は
  - 開発途上締約国が気候変動の悪影響に適応するための費用を支援する。
  - 他の締約国に対し、環境上適正な技術及びノウハウの移転又は取得の機会を提供・促進する。
  - 資金を供与するために実施可能なすべての措置をとる。

# 適応に関するこれまでの主な合意

COP7 (2001,  
Marrakesh)

- LDC作業計画
- 国別適応行動計画(NAPAs) / LDC専門家グループ(LEG) / LDC基金(LDCF)
- 特別気候変動基金(SCCF)
- 適応基金(AF)

COP11 (2005,  
Montreal)

- ナイロビ作業計画(NWP)

COP13 (2007,  
Bali)

- バリ行動計画(BAP)

COP15 (2009,  
Copenhagen)

- コペンハーゲン合意
- 短期資金(2010~12、\$300億)
- 長期資金(~2020、\$1000億)

COP16 (2010,  
Cancun)

- カンクン適応枠組み(CAF)
- 国別適応計画(NAPs)
- 損失と被害に係る作業計画
- 適応委員会

COP17 (2011,  
Durban)

- 緑の気候基金(GCF)

COP18 (2012,  
Doha)

- 損失と被害に係る制度をCOP19で設立することに合意

# UNFCCC下での適応の要素

## 活動

NAPAs/NAPs

NWP

損失と被害

## 体制

LEG

適応委員会

## 資金

LDCF

SCCF

AF

GCF

短期資金

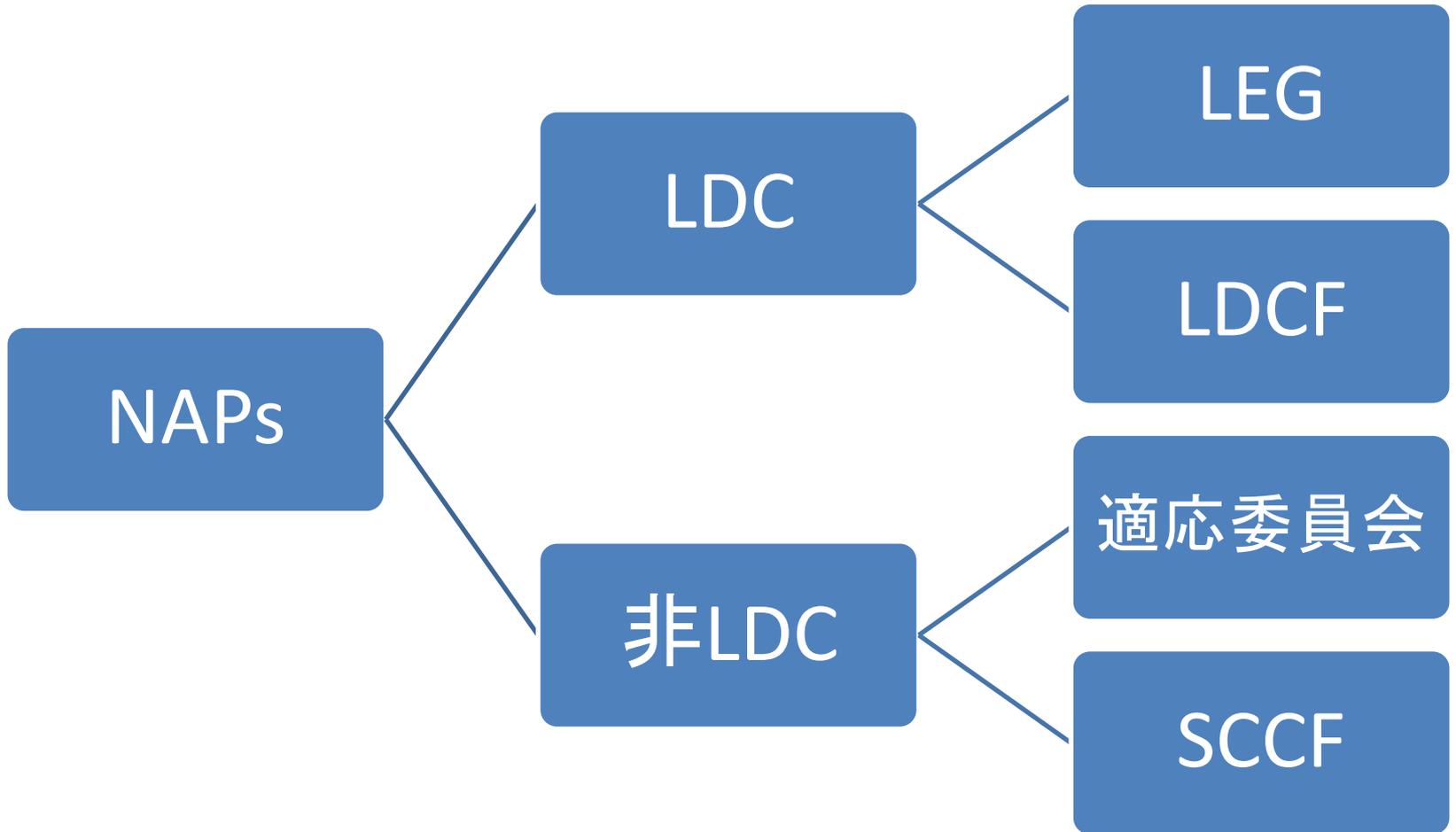
長期資金

UNFCCC以外の人的資源・ネットワーク

世界適応ネットワーク(GAN)

- アジア太平洋地域適応ネットワーク(APAN)

# NAPs策定支援



# NWP

## 目的

- 気候変動による影響、脆弱性、適応に係る理解と評価能力の向上
- 実用的な適応策について十分な情報に基づいた意思決定の促進

## これまでの取り組み・成果

- 技術文書（ベストプラクティス、ギャップ分析など）
- 情報の共有・提供（イベント、ニュースレター等）

## COP17での合意

- COP19において、NWPの業務範囲を再考

# 損失と被害

損失と被害とは

気候変動によって引き起こされる永続的な喪失と復元可能な損害

異常気象と遅発性の事象(海面上昇など)を理解し、減らすために国際協力と専門性を高めることが必要

争点

損失と被害を、緩和と適応に次ぐ第三の柱にすべきか？

制度に補償を含むべきか？

# 損失と被害に関する各国の主張

## 途上国

- 新しい柱にすべき
  - 緩和と適応だけでは不十分。
  - 適応とは別の制度が必要。
- 補償を含むべき
  - 最も脆弱な国々が最大の被害を被っている。
  - 先進国は、歴史的責任がある。

## 先進国

- 既存の制度を活用すべき
  - 損失と被害は適応と密接なつながりがある。
  - 新しい制度は不必要な複雑さを招く。
- 補償を含むべきではない
  - 追加的な費用の負担を無制限に求められるおそれ。
  - 法的責任の追及に繋がる可能性。

# COP19の合意事項(1)

## NAPs

- 先進国と援助機関に更なる財政・技術支援を要請
- 援助機関に支援プログラムの設立・強化を要請(2014年3月)
- 初期ガイドラインを適用した経験の共有(実施に関する補助機関(SBI40)、2014年6月)

## NWP

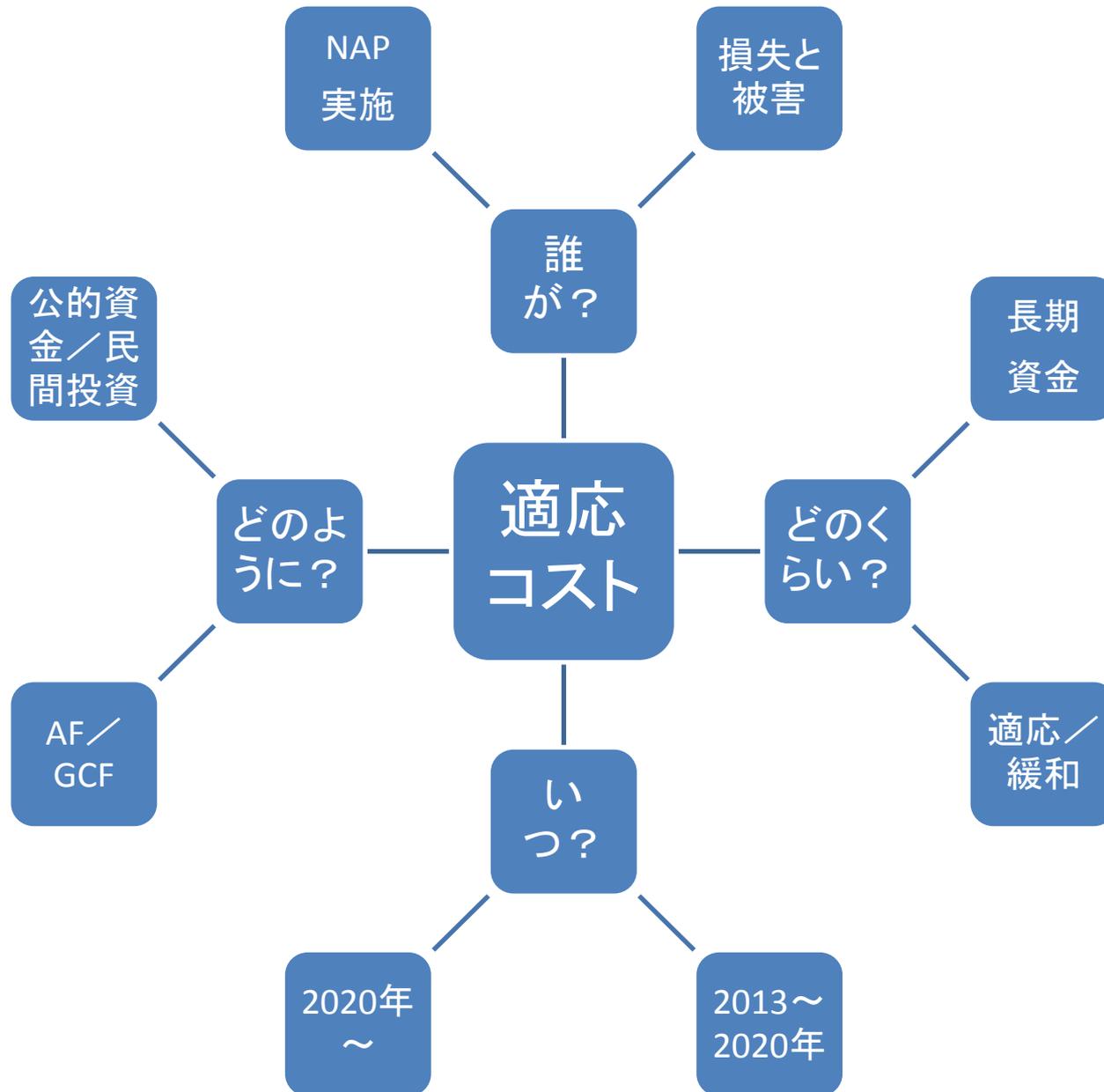
- 科学・技術上の助言に関する補助機関(SBSTA)にNWPのモダリティの効果を高める方策の検討を要請(SBSTA40、2014年6月)

# 合意事項(2)

## 損失と被害

- CAF下に、「ワルシャワ国際メカニズム(WIM)」を設立
- COP下に、執行委員会を設立
- WIMの役割
  - 包括的なリスク管理についての理解を深める
  - 関係者間の対話・調整を強化する
  - 財政、技術、キャパビルに係る支援を強化する
- 2014年12月までに作業計画を策定(SBI41)
- COP22でWIMの見直し

# 未解決の課題



# まとめ

適応が、緩和と並ぶ重要なテーマに

損失と被害という新たなテーマ、  
対立する先進国と途上国

NAPsの策定、NWPの強化、  
WIMの設立に合意

適応コストなど多くの課題が未解決